



島根県水産技術センター

令和8年8月13日発行

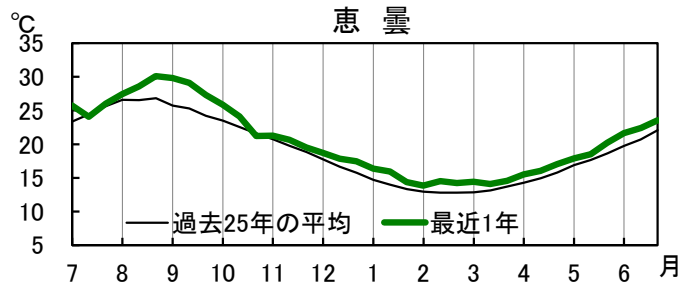
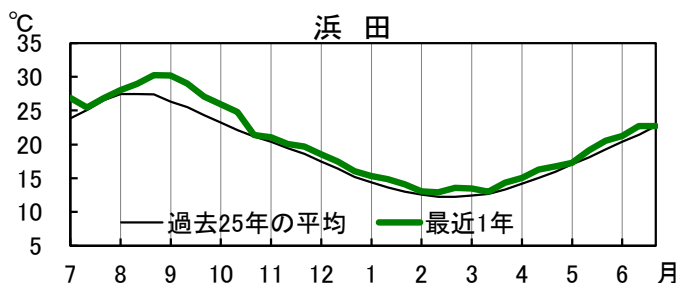
トビウオ通信 漁況速報 (7月号)

(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《6月の海況》



6月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	22.2°C	+0.7°C	はなはだ高め	22.5°C	+1.7°C
中旬	かなり高め			かなり高め		
下旬	平年並み			かなり高め		



《6月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の9割、前年の9割、マアジは平年の5割、前年の6割、マイワシは平年の1.9倍、前年の1.9倍でした。隠岐地区ではサバ類、マイワシ、ウルメイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は55.9トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、サバ類は4,872トンで平年の1.0倍、前年の5割、マイワシは2,200トンで平年の1.0倍、前年の2.9倍、ウルメイワシは1,097トンで平年の4割、前年の4.2倍でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ（全体の63%）、スルメイカ（同37%）が主体で、1隻1航海当りの漁獲量は75.3kgで平年を下回りました。西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体のほぼ100%）が主体で、1隻1航海当りの漁獲量は134kgで平年並みでした。

【ばいご漁業】

石見地区ではエッチュウバイを主体に、総漁獲量は30.8トンで平年の8割、1隻1航海当たりの漁獲量は1.4トンで平年並みでした。エッチュウバイの漁獲量は29.7トンで平年の9割、銘柄別では「中」、「中大」および「大」の3銘柄で全銘柄の約85%を占めました。

【しいら漬け漁業】

6月から始まった石見地区のしいら漬け漁業はシイラ、ヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、シイラは平年の1割未満、ヒラマサは平年の1.4倍でした。

【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、サバ類、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は36.5トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の2.7倍、サバ類は平年の7割、マアジは平年の1.0倍でした。石見地区ではサバ類、ブリ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は24.6トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の7割、ブリは平年の4.6倍、マアジは平年の3割でした。隠岐地区ではサバ類、イサキ、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は22.3トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の5割、イサキは平年の9割、ブリは平年の3割でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、アマダイ類、イサキ、キダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は18.5kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ケンサキイカは平年の5割、アマダイ類は平年の1.7倍、イサキは平年の1.2倍、キダイは平年の1.3倍でした。石見地区では、ケンサキイカ、アマダイ類、イサキ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は16.2kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ケンサキイカは平年の7割、アマダイ類は平年の1.0倍、イサキは平年の8割でした。隠岐地区ではスルメイカ、カサゴ・メバル類、キントキダイ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は23.8kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、スルメイカは平年の8割、カサゴ・メバル類は平年の9割、キントキダイ類は平年の1.4倍でした。

【令和 8 年 6 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	サバ類、マイワシ、ウルメイワシ	8,272 トン	73%	82%	55.9 トン	67%	75%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ、スルメイカ	4.2 トン	25%	41%	75.3kg	35%	45%
	西郷	スルメイカ	14.9 トン	42%	62%	134kg	58%	89%
ばいかご	石見	エッチュウバイ	30.8 トン	85%	84%	1.4 トン	96%	100%
シイラ漬け	石見	シイラ、ヒラマサ (*操業船が 1 隻のみのため公表不可)	—	—	—	—	—	—
定置網 (大型)	出雲	ブリ、サバ類、マアジ	475 トン	70%	105%	36.5 トン	70%	105%
	石見	サバ類、ブリ、マアジ	98.3 トン	31%	77%	24.6 トン	31%	77%
	隠岐	サバ類、イサキ、ブリ	66.9 トン	49%	61%	22.3 トン	49%	61%
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、アマダイ類、イサキ、キダイ	29.0 トン	83%	87%	18.5kg	87%	96%
	石見	ケンサキイカ、アマダイ類、イサキ	31.5 トン	85%	77%	16.2kg	91%	92%
	隠岐	スルメイカ、カサゴ・メバル類、キントキダイ類	19.1 トン	65%	72%	23.8kg	84%	103%

※ 平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業の CPUE は 1 経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約 20 年に 1 回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり〇〇」：約 10 年に 1 回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや〇〇」：約 4 年に 1 回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約 2 年に 1 回の出現確率である±0.5℃程度の高さ